

特定秘密保護法案を考える緊急シンポジウム（案）

10月の臨時国会に上程される「特定秘密保護法案」は国民の知る権利や報道の自由を侵害する恐れがあるばかりか、市民生活、特にプライバシーの侵害にも大きな影響を及ぼす公算が強い、と言われていています。しかし、残念ながら、まだこの法案の危険性や問題点が十分に周知されているとは思われません。

そこで、危機感をもっている研究者、弁護士、マスコミ関係者らの討論により、この法案の問題点などを具体的に分かりやすくお話していただくために、下記のとおりシンポジウムを開催します。

記

「じえじえじえ！ 私たちも捕まっちゃうの！！ 特定秘密保護法案を考える緊急シンポジウム」

日時 2013年10月28日（月曜日）午後6時—8時30分

場所 北海道自治労会館3階中ホール

基調講演 結城洋一郎小樽商大名誉教授

パネル 札幌弁護士会秘密保全法制対策本部委員

竹信航介（たけのぶ こうすけ）. 弁護士

北海道新聞本社編集委員 往住嘉文（とこすみ よしふみ） 記者

生活クラブ生活協同組合 江川 靖子 理事

結城洋一郎小樽商大名誉教授

資料代 500円

主催 「特定秘密保護法を考える緊急シンポジウム」 実行委員会

（生活クラブ生協北海道、北海道平和運動フォーラム、北海道地方自治研究所、北海道労働文化協会）

賛同団体 市民ネットワーク北海道、自治労道本部

問い合わせ先 北海道平和運動フォーラム

札幌市中央区北4条西12丁目ほくろウビル2階

電話 011-231-4157